

第 5 学 年 総 合 科 学 習 指 導 案

5 年 2 組 指 導 者 久 保 田 大 貴

単 元 2 0 0 0 年 も 住 み 続 け ら れ る 山 口 市 へ

1 本単元で子供が働かせる各教科等の見方・考え方

対象（人・もの・こと）と自分の思いを関連付けること

2 本単元について

本学級の子供たちは、世界的な目標である SDGs の社会的意義を学ぶ中で、自分たちの身近な生活の中で何かできることがあるはずだという思いをもつようになってきた。このような子供たちが、地元山口市の活性化のために働く企業・行政・地元の方々には話を聞いたり、共にイベントを企画したりしながら、地元山口市の様々な対象と自分の思いとを関連付けていく。このことは、今と未来の地域振興を願い、地域の一員としての自覚を高め、街づくりに参画しようとする態度を養うことにつながるであろう。

本単元は、地域の商店街やその周辺地区について調べ、どのように街づくりに参画できるかを探究する学習である。その際、様々な「人・もの・こと」との関わりの中で、自分がどのような思いをもつようになったかを考えることを大切にしたい。そうすることで、対象と自分の思いを関連付けながら、街づくりへの参画について探究することができるからである。このことは、子供たちの未来の実生活において、どの対象とどのような関わりをもっていくのかを、自分の思いと自覚的に関連付ながら考えていくことにつながるであろう。

そこで、以下のような支援を具体化し、本単元でめざす子供の姿の実現を図る。

- 地域振興を願う複数の立場の人々から話を聞く活動を仕組む。そうすることで、街づくりに携わる人々の思いと自分の思いのつながりに気付くことができるようにする。
- フィールドワークや講話を振り返る際には、自分がどのような思いをもつようになったかという視点で振り返るよう促す。そうすることで、様々な対象との関わりの中で、街づくりに対する自分の思いが深まっていくことを自覚できるようにする。
- 街づくりへのよりよい関わり方を話し合う場面を設定する。そうすることで、対象と自分の思いを自覚的に関連付けることができるようにする。

3 本単元の目標（町づくり・地域経済・キャリア）

- 様々な対象と自分の思いを関連付けながら、よりよい街づくりへの自分なりの参画の仕方を考えることができるようにする。
- 対象と自分の思いを自覚的に関連付けることをとおして、地域の一員としての自覚を高め、地域振興を願って、街づくりに参画しようとする態度を養うことができるようにする。

4 本単元における評価規準

知識・技能（知）	思考・判断・表現（思）	主体的に学習に取り組む態度（態）
○様々な立場の人々が地域振興に向けて思いをもち、協働して街づくりが推進されていることに気付いている。	○街づくりに携わる人々の思いと自分の思いのつながりに気付き、それらを関連付けながら、よりよい街づくりへの自分なりの参画の仕方を考えている。	○地域の一員としての自覚を高め、地域振興を願って、街づくりに参画しようとしている。

5 指導計画（全 2 5 時間）

- 第 1 次 地域の魅力や課題を考え、商店街への問題意識をもつ（6 時間）
- 第 2 次 企業や行政、地元の人々の街づくりを知る（7 時間）
- 第 3 次 街づくりへのよりよい関わり方を話し合い、実践する（1 1 時間）【本時（1 / 1 1）】
- 第 4 次 単元全体の学習を振り返る（1 時間）

6 本時案 【令和4年11月25日 10:00~10:45 5年2組教室】

(1) ねらい リーフレットで伝えたい思いについて話し合う活動をとおして、今後人々とのように関わっていきたいかを自覚的に考えることができるようにする。

(2) 学習過程 ※下線は支援に対応する子供の意識

学習活動・学習内容	子供の意識	○教師の支援
<p>1 どのようなリーフレットにするとよいかについて話し合う。(15分)</p> <p>・商店街に関わる人々の思い</p>	<p>・田中さんから、商店街のよさを紹介するリーフレットを作ってコトサイトに展示してみないかと言われたよ。</p> <p>A 私たちも商店街の活性化のために関わることができるね。</p> <p>・どのようなリーフレットにするとよいのかな。</p> <p>B <u>話を聞いてきた人々の思いが伝わるリーフレットにしたいな。</u></p>	<p>○田中さんからリーフレット作りの提案を受ける場面を設定する。そうすることで、関わってきた人々の思いに自覚的に着目することができるようにする。</p>
<p>自分がリーフレットで伝えたいのは、誰のどのような思いかな。</p>		
<p>2 リーフレットで伝えたい思いについて話し合う。(15分)</p> <p>・商店街に関わる人々と自分の思いを関連付けること</p>	<p>・田中さんは、ものづくりやことづくりでみんなが来なくなる商店街にしたいと考えていたよ。だから、新しいお店やイベントで商店街を盛り上げていることを伝えたいな。</p> <p>A <u>呉服屋さんは、地域の歴史や昔の人の思いを受け継ぐこと大切したいと言っていたよ。だから、昔からあるものを未来に残していくことを伝えたいな。</u></p> <p>B 春野さんは街の安全面やバリアフリーを充実させることを目指していたね。だから、大人も子供も誰もが気持ちよく過ごせる福祉の視点から大切なことを伝えたいな。</p> <p>・みんなが誰のどんな思いを伝えたいか分かったね。</p>	<p>○リーフレットで誰のどんな思いを伝えたいかを問う。そうすることで、自覚的に商店街に関わる人々との思いと自分の思いを関連付けることができるようにする。</p>
<p>リーフレットで自分たちの思いを伝えるために、今後誰とどのように関わることができるかな。</p>		
<p>3 今後の関わりについて話し合い、本時の学習を振り返る。(15分)</p> <p>・商店街に関わる人々との関わり方</p> <p>・自分が大切にしたい思いの自覚化</p>	<p>A <u>呉服屋さんにもう一度行って話を聞いてみたいよ。呉服屋さんに行けば、昔からあるものを大切にしている他のお店を紹介してもらえるのではないかな。</u></p> <p>B 春野さんと一緒に商店街を見に行きたいな。実際にどこにどんな使いやすさがあるか福祉の視点から教えてもらいたいな。</p> <p>A 自分たちが大切にしたいことがはっきりしたよ。だから、これからどのように関わることができるか考えられたね。</p> <p>・よし、もう一度詳しく話を聞いたり商店街に行ったりしてみよう。</p>	<p>○今後誰とどのように関わるかを問う。そうすることで、思いの実現のために必要な人々との関わり方を自覚的に考えることができるようにする。</p>

